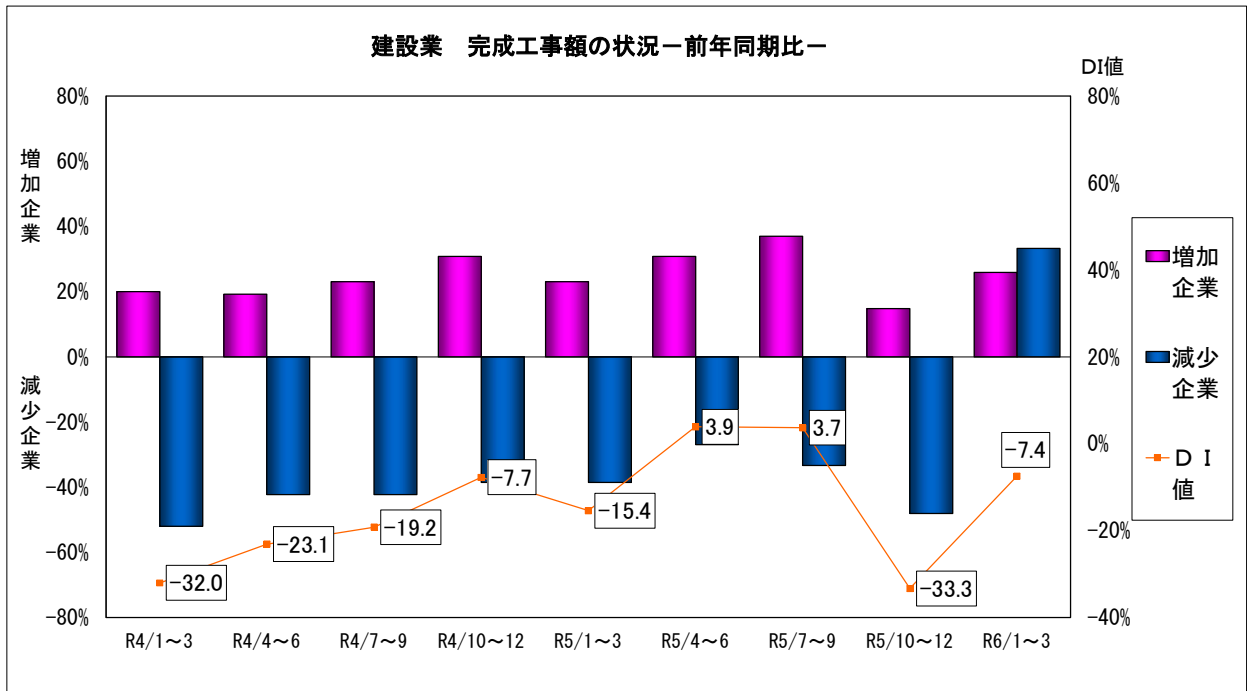


(2) 主要項目の概況

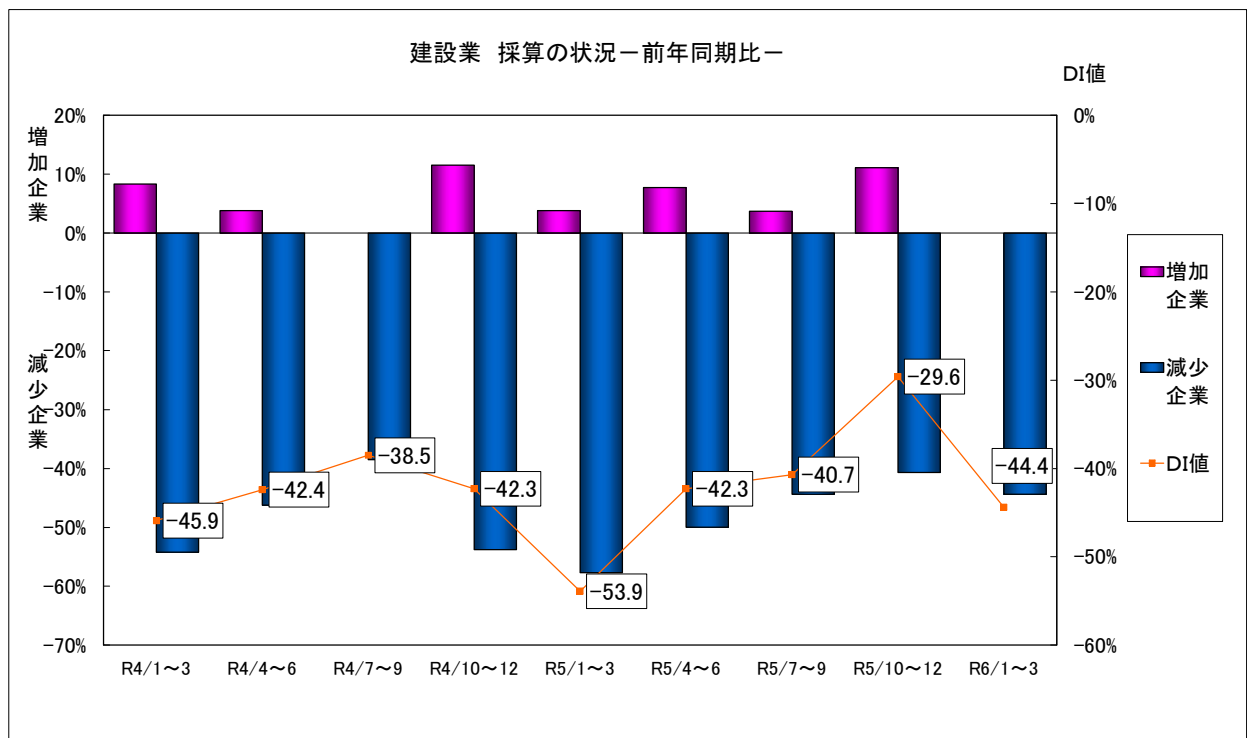
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事（請負工事）額DI値は-7.4。前期-33.3から25.9ポイント上昇した。
来季の見通しは-7.4の予想である。



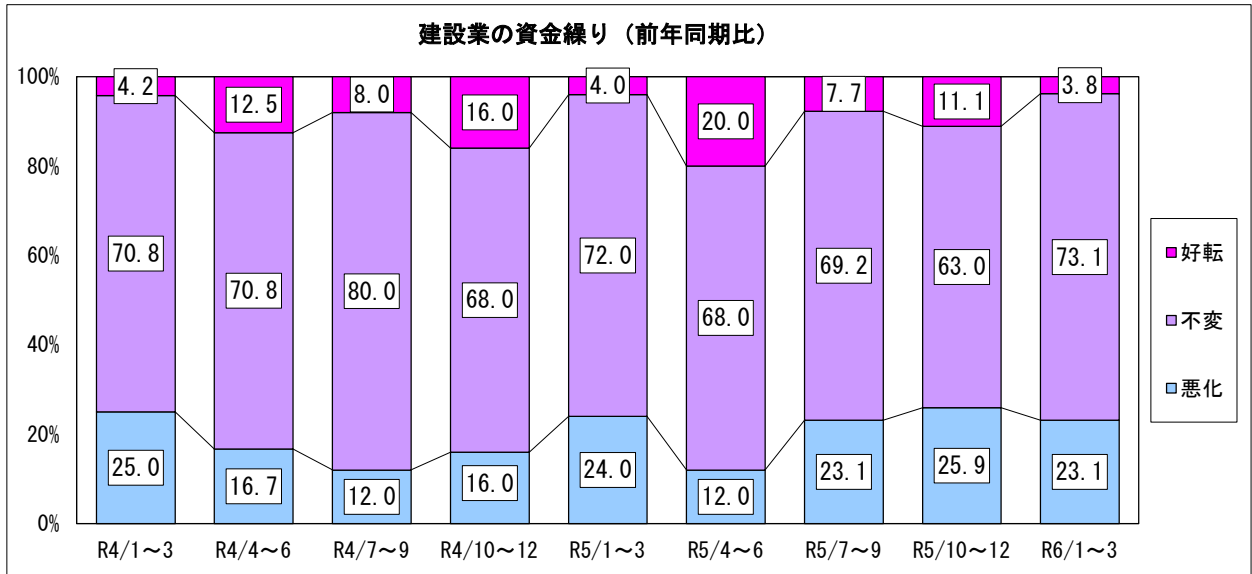
②採算（前年同期比）

今期の採算（経常利益）DI値は-44.4。前期の-29.6から14.8ポイント低下した。
来季の見通しは-37.0の予想である。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は-19.3。前期の-14.8から-4.5ポイント低下した。
来季の見通しは-23.1の予想である。

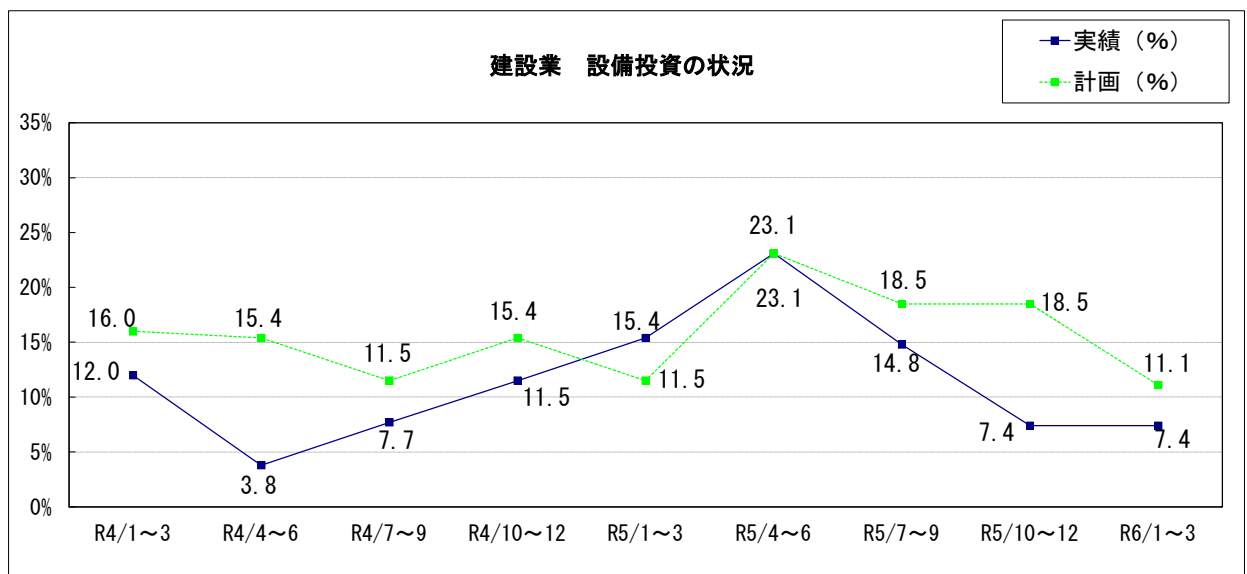


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施（実数）	2	0	1	0	2	0	0	0	0	25
（%）	7.4	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.6
今期実施（実数）	2	0	0	1	1	0	0	0	1	25
（%）	7.4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	92.6
来期計画（実数）	3	0	0	0	1	0	0	0	2	24
（%）	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	88.9

今期設備投資を実施した企業は2社（7.4%）前期（令和5年10月～12月）の実施企業2社（7.4%）
来期は3社（11.1%）が新規設備投資を予定している。



⑤経営上の問題点

今期、建設業が経営上の問題点として一位～三位にあげる項目は

- ・「材料価格の上昇」 (前期68.0%→今期70.8%)
- ・「請負単価の低下、上昇難」 (前期16.0%→今期29.2%)
- ・「従業員の確保難」 (前期28.0%→今期25.0%)
- ・「材料費・人件費以外の経費の増加」 (前期24.0%→今期25.0%) となっている。

